

\*\*\*\*\*  
開講科目名：金融論研究 (B) (2単位)  
開設年次：1年 2年  
開設学部：会計学研究科博士前期課程 会計学研究科博士前期課程会計学専攻  
担当者：橋本 理博  
\*\*\*\*\*

《授業の概要》

【授業の目標】

この授業では、国際金融の基本的枠組みを学ぶ。これを通じて、国際金融に関する諸問題を分析するのに必要な研究能力の基礎を育むことを到達目標とする。

【授業の概要】

この授業では、まず国際金融取引の構造を学ぶ。次いで、国際収支や外国為替レートの決定要因を確認する。そして、国際通貨体制の変遷や最適通貨圏の考え方を整理したうえで、過去数十年に世界が経験したグローバル金融危機の要因を考察する。さらにそれを踏まえ、現在行われている国際金融規制の取り組みへの理解を深める。

【評価方法】

定期試験レポート（70%）、授業への貢献度（30%）により評価する。

【授業内容】

第1回：イントロダクション  
第2回：国際金融取引の構造  
第3回：国際収支と外国為替市場 (1) 国際収支の決定要因  
第4回：国際収支と外国為替市場 (2) 外為レートの変動要因  
第5回：国際収支と外国為替市場 (3) 外為レートの決定理論  
第6回：国際通貨体制の変遷 (1) 金本位制の各国採用  
第7回：国際通貨体制の変遷 (2) 英ポンド体制  
第8回：国際通貨体制の変遷 (3) 米ドル体制  
第9回：最適通貨圏論  
第10回：グローバル金融危機 (1) 1990年代  
第11回：グローバル金融危機 (2) 2000年代  
第12回：グローバル金融危機 (3) 2010年代  
第13回：国際金融機関の役割  
第14回：国際金融規制改革  
第15回：全体の総括

定期試験を実施する。

《テキスト》

指定しない

《参考書》

上川孝夫・藤田誠一編（2012）『現代国際金融論（第4版）』有斐閣。  
川本明人（2018）『外国為替・国際金融入門（第2版）』中央経済社。